資料３－２－①
関東地方整備局
事業評価監視委員会
（平成２６年度第８回）

（再評価）

南鳥島における
活動拠点整備事業

参考資料

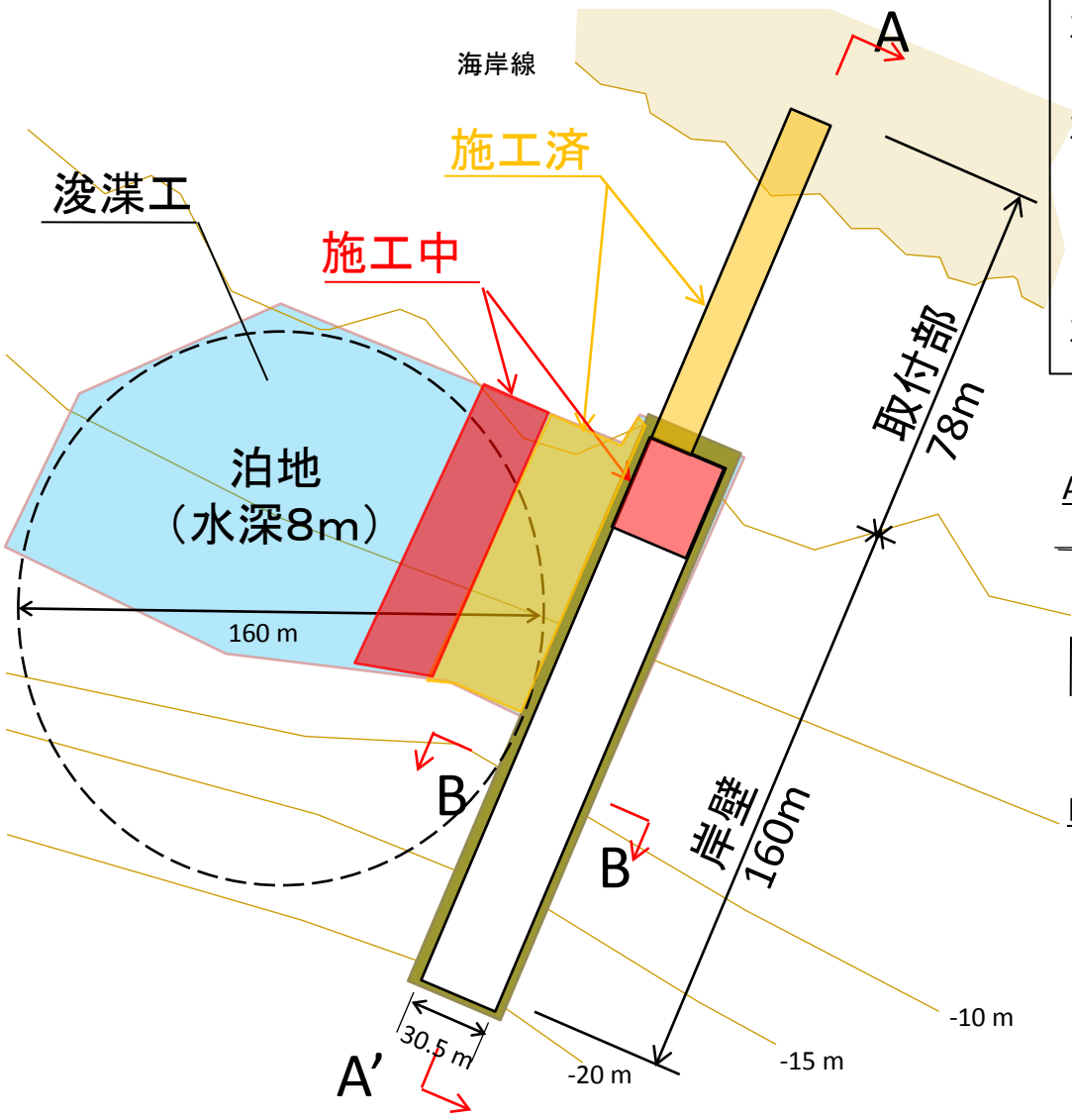
平成27年1月16日

国土交通省　関東地方整備局

南鳥島における活動拠点整備事業
工事概要

施　設　の　概　要

平　面　図



事業期間　：　平成22年度～平成28年度

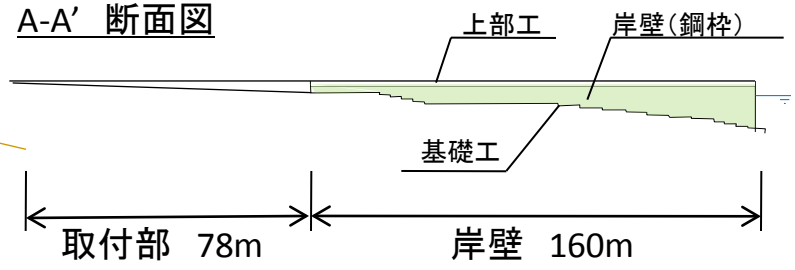
事業箇所　：　南鳥島南側海岸部

事業内容　：　岸壁（延長160m、水深-8m）
泊地（水深-8m）
（附帯施設を含む）

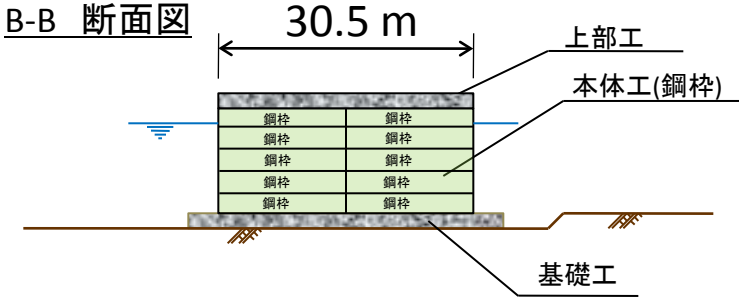
事業費　　：　246億円

断　面　図

A-A’　断面図



B-B　断面図



※岸壁は、防波堤機能を兼ねるため、不透過構造。

工事の進捗状況

①岸壁取付部
（H26年3月の状況）

②岸壁本体部
（H26年12月の状況）

③浚渫工事の状況

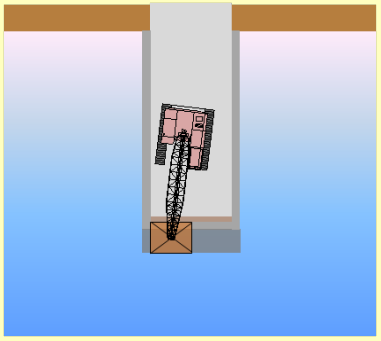
④コンクリートプラント、骨材プラント、骨材置場全景
（H26年8月の状況）

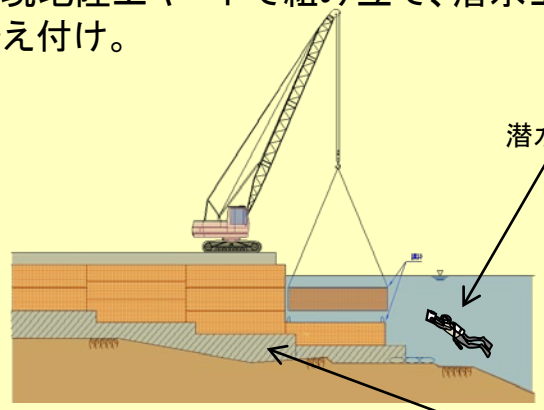
南鳥島の岸壁整備について（その1）

南鳥島は、防波堤等の外郭施設に防護されていないため波高が非常に高く、連続静穏日の確保が内地に比べ困難。このため、1工程1日で施工が可能な鋼枠ケーソン工法を採用することにより、少ない静穏環境の中で効率的に工事を実施できるよう、工夫している。

a) 鋼枠組立・据付

本土で製作した鋼枠を現地陸上ヤードで組み立て、潜水士が確認しながらクレーンにて据え付け。

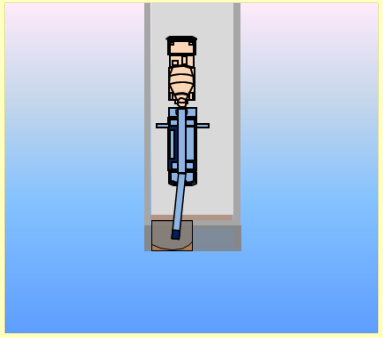


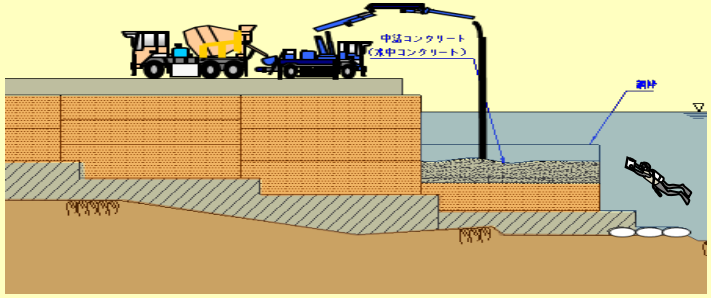


鋼枠据付状況図

b) 鋼枠内のコンクリート打設

現地で発生した浚渫土を活用し、鋼枠内に水中コンクリートを打設。コンクリートポンプ車を使用し、潜水士が確認しながら打設。

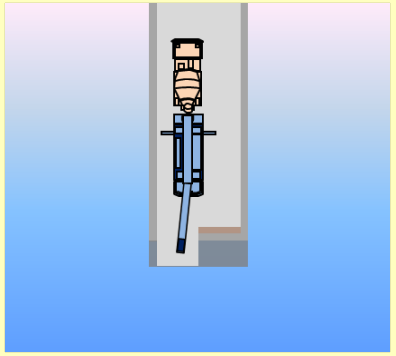


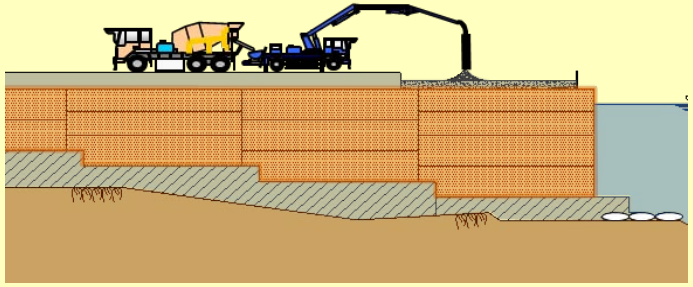


中詰コンクリート打設状況図

c) 上部コンクリート打設

鋼枠内のコンクリートを打設後、上部コンクリートを打設。





上部コンクリート打設状況図

南鳥島の岸壁整備について（その2）

①基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打設

② 鋼枠組立

③ 鋼枠移動

④ 鋼枠据付

⑤中詰めｺﾝｸﾘｰﾄ打設

⑥上部コンクリート打設

浚渫土砂の有効活用

南鳥島は、内地から遠隔に位置する離島であり、資機材の運搬コストが高くなる。
このため、骨材プラントを現地に設置し、泊地浚渫時に発生する土砂（サンゴ礫）を骨材として活用することにより、骨材運搬コストの縮減を図っている。

浚　渫

骨材製作

コンクリートプラント

骨材プラント

コンクリート打設